

令和7年度自己評価結果公表シート

青英幼稚園

1. 本園の教育目標

- ★ 明るい笑顔と基本的な生活習慣を育む
- ★ 健康で感性豊かな子ども
- ★ 一人ひとりが主体的に行動・表現できる子ども
- ◇ 基本的な生活習慣と正しい生活態度、(挨拶、言葉遣い、整理整頓、交友関係、お話を聞く態度等) 特にお話を聞く時の態度と理解力の向上を図り、集団生活に必要な協調性を養う。
- ◇ 五感の刺激を意識的に取り入れ、何事にも集中して粘り強く取り組む姿勢を養い、成し遂げた喜びと楽しさや充実感が自信になり、積極的に明るい性格に育つように導く。
- ◇ 体育・徳育・知育の総合教育を偏りなく実施し、“あそび”を通してこどもの未知なる可能性と伸び伸びとした豊かな心を育む。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◇ 教育を子どもたちの“あそび”の中からの導き出す資質向上への取り組み
教育課程の内容を確認し、“あそび”の中から教育活動に繋がっていくような保育を充実できるように、全職員間で各園児の指導の課題点を話し合う機会を増やすと共に、保育の指導案の見直しをする。
- ◇ 五感を通して様々な経験を重ねる中で、感受性・想像力豊かに心を育てる取り組み
実際に触れてみる、体験してみる経験を重ねる中で子どもたちの心が豊かになる活動を充実させる。様々な行事に関しても、何を目的としているのか、子どもたちが自分で考え主体的活動に参加するためにはどうすべきなのかを常に職員で考えられるようにする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	評価	取組状況
自然栽培活動の実施	A	<ul style="list-style-type: none">・ 堺市南区「みなみ・みどりのわくわく教室」に参加し、大根の種植えから観察、収穫をする体験を行いました。・ 園でも菜園活動に力を入れ、「玉ねぎ、トマト、オクラ、きゅうり、かぼちゃ、さつまいも、じゃがいも」と様々な野菜を育てる経験を行いました。
地域交流	A	<ul style="list-style-type: none">・ 若松台中学校区の保育施設が集まり、11月と2月に2回、年長児の交流会を実施しました。・ 保幼小の円滑な接続の為、年長児は若松台小学校【1年生・5年生】、若松台こども園と一緒に交流会を実施し、小学校進級に期待が持てるようにしました。・ 若松台小学校のオープンスクールに教職員が参加し、小学校の様子を知りました。園の公開保育にも来て頂き、相互参観を実施しました。・ 地域の子育てサークルに参加し、園児の歌発表も行い地域との繋がりや交流を大切にしてきました。・ 地域のキャンドルイベントに子どもたちの描いた絵を展示してもらいま

		した。
教職員の指導能力向上	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎日のミーティングの中で日々の子どもの姿、又は保護者からの意見・要望について、話し合いの場を設けて情報を全員が共有する環境を作っています。その中で、抱えている悩みに対して、それぞれが研修での学びや自身の経験などから解決策を考えられる環境づくりに努めています。また、情報共有することで、職員全体の資質向上に繋げ、いつでも誰にでも頼れる職場環境を整えています。
異年齢保育の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> 少人数での保育を生かし、異年齢での活動を日頃からたくさん実施してきました。子ども同士のやり取りの中で、心が育つような保育を心掛け実践してきました。 姉妹園に出かけ、異年齢での交流会も実施しました。園に園児が少ない分、たくさんの友達と関わり合える工夫をしています。
園内研修の実施	A	<ul style="list-style-type: none"> 園内に講師の先生に来て頂き、園内研修を実施しました。昨年一年間で教職員がよく悩んでいたテーマで研修を実施することが出来ました。
食育に関する実践	A	<ul style="list-style-type: none"> 一年間を通して食育活動の内容が充実したものになる様、計画を見直しました。 実際にこどもたちに食材や素材に触れてもらう機会や、調理を見てみる機会をつくり、触ったり、嗅いだり、味わったり五感を使って食育に繋がる活動を増やしました。 一年間を通して野菜の栽培を園内、園外(地域との交流)で実施しました。 クッキングを実施しました。
園舎・園庭などの環境整備	B	<ul style="list-style-type: none"> 安全に遊べるよう定期的に遊具点検を行いました。 伸びている危険な箇所の木を切ってもらい、園庭が安全に使えるように点検しています。
安全指導・危機管理	A	<ul style="list-style-type: none"> AEDを毎月点検しています。・教職員研修を受講しました。 毎月火災・地震・不審者対応等の訓練を実施し、小さなこどもたちにも理解しやすいような視覚支援(パネルシアターや紙芝居、絵本等)を用いて実際の行動と活動内容が結びつくような工夫をしています。 5月に堺市南消防署見学へ行き、防災意識の向上と消防士のお仕事について学びました。また年2回消防署への通報訓練、11月には消防職員立会い避難訓練の実施をしています。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価 A	<ul style="list-style-type: none"> 新たに繋がりを持ったり、交流を実施したことで、地域との繋がりやコミュニティーを広げることができた。また繋がりを大切に、地域に開かれた園作りに取り組むことができている。 みどりわくわく教室では堺市南区とも協働し、こどもたちの活動を深めることができた。 こどもたちが自分で選択したり、考えたりする機会や異年齢保育を充実させそれぞれ
------	---

	<p>れが主体的に活動する機会を設けることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「こどもたちにとっての最善」を常に念頭に置いて、教職員が一丸となり保育・教育活動に専念することが出来た。
--	---

5. 今後取り組むべき課題

少人数における保育の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の情勢も踏まえ、少人数で過ごすこどもたちにとってマイナスな部分生まれないように、何が出来るのかを職員みんなで考え、保護者の方と一緒にこどもたちにとっての最善を見出していきたいです。 ・ 出来そうな事は何事にも挑戦、取り組んでいきたいです。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理マニュアルの見直しを毎年行い、定期的にマニュアルを読み合わせ、緊急フローチャートの役割分担等しっかり把握して意識統一を志します。 ・ これまでのヒヤリハット・事故報告書を振り返る園内研修を実施して、安全面に十分留意しながら保育に取り組みます。 ・ 安全に遊べるように遊具の見直しや、戸外の遊びが充実する工夫をします。
働きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが安心して発信や行動ができる職場づくりの構築をします。 ・ 職員間のコミュニケーションの円滑化をはかります。 ・ 職員一人一人の個性が活かされる職場を目指します。